

## 平成31年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	荒井 一樹
		全体計画				経費区分		-		内線	3628
事務事業名	4324 生涯スポーツ事業										
所 属	130500 社会共創部・生涯学習スポーツ課										
施 策	04022000 スポーツ活動の充実										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	100703 教育費・保健体育費・体育振興費									
	事業	020000 生涯スポーツ事業									
事業目的						事業概要・効果					
市民の誰もがライフステージに応じたスポーツ活動に親しみ、健康の増進や豊かなスポーツライフの実現を図る。						学校体育施設の開放や各種大会を主催し、スポーツの普及発展と市民の交流、健康増進・相互の親睦、生涯スポーツを推進する。 ニュースポーツの大会を開催し、スポーツ人口の増加につなげる。 子ども向けスポーツ教室を引き続き体育協会に委託する。					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

平成27年度 実績	平成28年度 実績
地域別スポーツ教室の開催、学校開放の実施、各種大会等を主催し、全国大会出場者に激励金を交付した。海の家負担金事業は、今年度で廃止することとした。	地域別スポーツ教室の開催、学校開放の実施、各種大会等を主催し、全国大会出場者に激励金を交付する。新たに冬季スポーツの振興を図るため、峰の原スキー場の利用料負担事業を行う。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
ニュースポーツ普及のためのイベント開催、学校開放の実施、各種大会等を主催し、全国大会出場者に激励金を交付する。冬季スポーツの振興のため、峰の原スキー場の利用料負担事業を行う。 日中友好都市卓球交歓大会に選手団を派遣する。	ニュースポーツイベント開催、学校開放の実施、各種大会等を主催。全国大会出場者に激励金を交付する。冬季スポーツの振興のため、峰の原スキー場の利用料負担事業を行う。長野県日中友好都市卓球交流大会に選手団を派遣する。
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
ニュースポーツイベント開催、学校開放の実施、各種大会等を主催。全国大会出場者に激励金を交付する。冬季スポーツの振興のため、峰の原スキー場の利用料負担事業を行う。	ニュースポーツイベント開催、学校開放の実施、各種大会等を主催。全国大会出場者に激励金を交付する。冬季スポーツの振興のため、峰の原スキー場の利用料負担事業を行う。

指標名	地域別スポーツ教室				
算式	参加者数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標			550	600
	実績	363	45	27	
指標選定の理由	地域別にニューススポーツ教室を開催し、気軽にスポーツに親しみ、健康増進につなげる。 (平成29年度以降はニューススポーツふれあい大会への参加者数)				
最終年度目標の根拠	平成26年度実績値の約40%増 (H29よりニューススポーツふれあい大会開催) (地域別スポーツ教室は平成29年度より希望する区のみ実施)				
指標名	信州須坂ハーフマラソン(旧:竜の里須坂健康マラソン)				
算式	申込者数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標			3,000	3,000
	実績	2,355	2,018	2,294	(1,876)
指標選定の理由	日頃から健康増進のためウォーキングをしている市民、ランニングをしている市民の増加につながる				
最終年度目標の根拠	平成26年度実績値約2割増				
指標名	スポーツリーダーバンク				
算式	登録者数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標			38	40
	実績	32	31	31	(32)
指標選定の理由	地域のスポーツ推進のリーダー・指導者の確保、育成 スポーツ推進委員を含む				
最終年度目標の根拠	ニューススポーツや各種大会等への指導者派遣要請に応えられる人数				

事業費

(単位:千円)

		平成30年度 決算	平成31年度 予算
事業費		35,262	34,791
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,726	7,449
一般財源		33,536	27,342
人員数(人)	正規職員	2.6	2.5
	嘱託職員	1.0	0.0
	臨時職員	0.5	1.2
人員コスト	正規職員	18,590.0	17,875.0
	嘱託職員	2,875.0	0.0
	臨時職員	622.5	1,494.0
	計	22,087.5	19,369.0
市民一人当たりの経費		1.1	1.0
総額		57,349.5	54,160.0

(単位:千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	1,322	スポーツ教室指導者謝礼、市主催大会役員謝礼等 1,197 全国大会出場激励金 224
11節 需用費	819	大会・行事消耗品 517、印刷製本費 124 など
13節 委託費	1,400	子ども向けスポーツ教室委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	30,976	須高行政事務組合負担金(プール)18,261、信州須坂ハーフマラソン負担金10,800、峰の原高原スキー場リフト負担金1,415
その他	745	郵便料35、清掃用具借上155、備品購入175 ほか

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	1,474	スポーツ教室等指導者謝礼 1,174 全国大会参加者激励金 300
11節 需用費	931	大会・行事等消耗品 549、印刷製本費 124 など
13節 委託費	1,460	子ども向けスポーツ教室委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	28,337	須高行政事務組合教育費負担金(プール)20,017、ハーフマラソン負担金 6,500、峰の原スキー場リフト負担金 1,820
その他	2,589	臨時職員賃金等1,712、保険料56、借上料575 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	幅広い年代へスポーツ機会の提供を行うほか、市体育施設の不足を補うため学校体育施設の開放を行っている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	幅広い年代へスポーツ機会の提供を行うほか、市体育施設の不足を補うため学校体育施設の開放を行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	市主催大会等について効率的な運営に努める。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

市民のスポーツ機会の提供(観戦等も含む)が課題である。公金着服事件を受け事務の進め方の改善が必要である。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
スポーツ協会、スポーツ推進委員と共に機会の提供に努め、市民がスポーツに触れる（観戦も含め）割合を高める。		週1回以上、スポーツを「する、観る、関わる」成人の割合を高めるため、スポーツ協会とも協力・連携して様々なスポーツをする・観る・関わる機会を提供する。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	